

柏原市立歴史資料館等運営協議会

資 料

日 時 平成30年 5月30日（水）

午後2時～4時

場 所 柏原市立歴史資料館研修室

目 次

1	条例及び規則の改正について	1
2	平成29年度事業報告	
	(1) 歴史資料館関係	1
	(2) 横穴管理運営関係	14
3	平成30年度事業計画	
	(1) 歴史資料館関係	15
	(2) 横穴管理運営関係	19

資料

柏原市立歴史資料館等運営協議会委員名簿

柏原市立歴史資料館条例

柏原市立歴史資料館条例施行規則

柏原市立歴史資料館等運営協議会規則

事務局

教 育 長	新子 寿一
教 育 部 長	福島 潔
教育部次長	石垣 好啓
文化財課長兼歴史資料館長	安村 俊史
文化財課参事	石田 成年
文化財課長補佐	植田 佳邦
文化財課主査	山根 航
文化財課係員（再任用）	桑野 一幸、田前 亮太
文化財課嘱託	青木 絹代
歴史資料館学芸員（嘱託）	高岡 萌

1 条例及び規則の改正について

(1) 条例の改正

- a. 閉館時間の変更 「午後4時30分まで」を「午後5時まで」に変更。
- b. 規則の条項を条例に移項。
- c. 「撮影等の料金の減免」を「免除」に変更。

(2) 規則の改正

- a. 条例改正に伴う規則の改正
※条例・規則とも7月1日より施行。

(3) 入館料の徴収について

- a. 昨年度の歴史資料館等運営協議会で審議いただいた当館の入館料徴収については、昨年度12月議会において、当館を含む11施設の使用料徴収に伴う条例変更議案が提出されていたが、当館の入館料徴収部分を除いた修正議案が提出され可決された。
- b. これにより、当館の入館料徴収については、当面見送られることになった。

2 平成29年度事業報告

(1) 歴史資料館関係

(ア) 【開館25周年記念事業など】

- a. 資料館開館25周年・史跡高井田横穴公園開園25周年記念企画展「横穴探求」。
- b. 第100回企画展「天井川と洪水」。
- c. 11月7日（開館記念日）の来館者にミュージアムグッズ進呈。
- d. 11月10日に開館以来の入館者50万人達成。50万人目の方に、記念品を進呈。
- e. 広報11月号で特集記事。

(イ) 【常設展示】

- a. 民具、近世の展示コーナーを4回展示替え。
- b. 写真パネル展示コーナーを「今に残る大和川の風景」に展示替え。
- c. ニュースのコーナーを市指定文化財となった「青谷地藏尊」に展示替え。
- d. そのほか、企画展、資料貸し出し等に伴って展示資料を入れ替え。

(ウ) 【企画展】

- a. 「竹原井頓宮」（平成28年度事業）
平成29年3月25日～6月11日

観覧者数 2,185 名（個人 1,759 名、団体 426 名）

b. 「横穴探求」

平成 29 年 7 月 1 日～8 月 27 日

観覧者数 1,453 名（個人 1,291 名、団体 162 名）

c. 「天井川と洪水－大和川のつけかえ工事－」

平成 29 年 9 月 12 日～12 月 10 日

観覧者数 11,383 名（個人 1,611 名、団体 9,772 名）

見学小学校 112 校、9,039 名（28 年度 104 校、8,037 名）

d. 「ちょっと昔の道具たち－くらしのなかの木の道具－」

平成 30 年 1 月 6 日～3 月 11 日

観覧者数 2,266 名（個人 1,411 名、団体 855 名）

見学小学校 9 校、648 名（昨年度 10 校、683 名）

e. 「今町－三田家・寺田家からみた柏原村－」

平成 30 年 3 月 31 日～6 月 10 日

(エ) 【特集展示】

a. 「河内大橋」

平成 29 年 4 月 25 日～9 月 10 日

b. 「和気清麻呂の大和川付け替え」

平成 29 年 9 月 12 日～12 月 24 日

c. 「安福寺の夾紵棺」

平成 30 年 1 月 4 日～平成 30 年 3 月 21 日

(オ) 【スポット展示】

「こんなモノをいただきました」をテーマに 2 ヶ月ごとに展示替え。9～10 月の展示は博物館実習生による展示。11～12 月の展示は職業体験の中学生による展示。

なお、平成 30 年 1～2 月は、近世柏原の瓦工「松井四郎兵衛」を開催した。

a. 御殿雛（寄贈 1994-3）、雛道具（寄贈 1994-1）

平成 29 年 3 月～4 月

b. 農薬ビン、箱膳（寄贈 2010-8）、防空電球（寄贈 2010-9）

平成 29 年 5 月～6 月

c. 大和川河川敷採集品（寄贈 2010-10）

平成 29 年 7 月～8 月

d. 花見弁当箱、手提弁当箱、針箱、銅盥（寄贈 2011-1）

平成 29 年 9 月～10 月

e. スキー（寄贈 2011-2）、吉村長策像（寄贈 2011-3）

平成 28 年 11 月～12 月

f. 「瓦工 松井四郎兵衛」

平成 30 年 1 月～2 月

g. 御殿雛、雛道具（寄贈 1993-3）

平成 30 年 3 月～4 月

（カ）【出張展示】

- a. 平成 29 年 9 月 20 日から 10 月 10 日まで、柏原市市民歴史クラブ、大阪府立中央図書館との共催事業として、府立中央図書館にて出張展示「竹原井頓宮」を開催。中央図書館 1 階展示コーナーにて、竹原井頓宮遺構模型、竹原井頓宮周辺ジオラマ、河内国分寺七重塔復元模型とパネルによる展示。講演会「奈良時代の行幸と離宮」を開催。
- b. 平成 30 年 1 月 17 日から 2 月 13 日まで、柏原市市民歴史クラブが大阪府立近つ飛鳥博物館と共催で実施した「竹原井頓宮」を支援。展示パネルの作製や設置、展示期間中の講演を行った。

（キ）【文化財講演会】 定員 80 名

- a. 平成 29 年 7 月 22 日（土） 講演会後、横穴一部公開
「畿内横穴墓の再検討」
講師 花田勝広氏（野洲市教育委員会）
「葬送と色彩－高井田横穴群の新知見－」
講師 河内一浩氏（羽曳野市立人権文化センター）
聴講者数 56 名
- b. 平成 29 年 8 月 5 日（土） 講演会後、横穴一部公開
「横穴の構造とその分布－古墳時代墓制としての横穴の意義と成立背景－」
講師 米川仁一氏（奈良県立橿原考古学研究所）
「赤田横穴群の発掘調査について」
講師 池田裕英氏（奈良市教育委員会・奈良市埋蔵文化財調査センター）
聴講者数 63 名

（ク）【市民歴史大学】 定員 100 名

年間テーマ「横穴探求」（文化財講座例会と兼ねる。）

- a. 平成 29 年 7 月 8 日（土） 講演会後、横穴一部公開
「日本における横穴墓の展開－吉見百穴発掘 130 周年－」
講師 池上 悟氏（立正大学教授）
聴講者数 86 名
- b. 平成 29 年 8 月 12 日（土） 講演会後、横穴一部公開

「磐井の乱と石人石馬、装飾古墳」

講師 河野一隆氏（九州国立博物館）

聴講者数 103 名

c. 平成 30 年 1 月 13 日（土）

「葬送儀礼からみた横穴と横穴式石室」

講師 森本 徹氏（大阪府立近つ飛鳥博物館副館長）

聴講者数 68 名

d. 平成 30 年 3 月 10 日（土）

「聖徳太子の柩」

講師 猪熊兼勝氏（京都橘大学名誉教授）

聴講者数 111 名

（ケ）【体験教室】

a. 平成 29 年 12 月 3 日（日） 定員 20 名

「しめなわを作ろう」 講師 横尾卓治氏（市内雁多尾畑在住）

参加者数 21 名

b. 平成 30 年 2 月 4 日（日） 定員 15 名

「わらざうりを作ろう」 講師 横尾卓治氏

参加者数 16 名

（コ）【文化財講座】 年間 11 回 受講者数 59 名（定員 60 名） 担当・山根

年間テーマ「横穴探求」 参加費 年間 2,000 円

a. 平成 29 年 5 月 13 日 「横穴の基礎知識」（講義・山根）

b. 平成 29 年 6 月 10 日 「高井田横穴群のおはなし」（講義・安村）

c. 平成 29 年 7 月 8 日 市民歴史大学 a の聴講

d. 平成 29 年 8 月 12 日 市民歴史大学 b の聴講

e. 平成 29 年 9 月 19 日 見学会 1・大阪三大横穴群を巡る

f. 平成 29 年 10 月 14 日 見学会 2・高安千塚古墳群を巡る

g. 平成 29 年 11 月 11 日 見学会 3・龍王山古墳群を巡る

h. 平成 29 年 12 月 9 日 見学会 4・南山城の横穴群を巡る

i. 平成 30 年 1 月 13 日 市民歴史大学 c の聴講

j. 平成 30 年 2 月 10 日 「横穴探求ーまとめー」（講義・山根）

k. 平成 30 年 3 月 10 日 市民歴史大学 d の聴講

（サ）【古文書講座】

a. 初級編 年間 10 回 受講者数 18 名（定員 25 名）

『河内鑑名所記』を読む。

- b. 中級編 年間 10 回 受講者数 20 名（定員 25 名）

三田家文書を読む。

担当・川元 参加費 年間 1,000 円

平成 29 年 6 月から平成 30 年 3 月まで 10 回開催。

(シ) 【館長と学ぶ大和川講座】 定員 60 名から 70 名に変更

- a. 平成 29 年 4 月 22 日 「青谷遺跡と竹原井頓宮」 聴講者数 102 名
- b. 平成 29 年 5 月 27 日 「万葉集と大和川」 聴講者数 73 名
- c. 平成 29 年 6 月 24 日 「河内大橋と大和川」 聴講者数 54 名
- d. 平成 29 年 7 月 29 日 「由義宮と大和川」 聴講者数 74 名
- d. 平成 29 年 9 月 23 日 「和気清麻呂の付け替え工事」 聴講者数 55 名
- e. 平成 29 年 10 月 28 日 「天井川となる大和川」 聴講者数 58 名
- f. 平成 29 年 11 月 25 日 「大和川付け替え運動のはじまり」 聴講者数 65 名
- g. 平成 29 年 12 月 23 日 「大和川付け替え運動の展開」 聴講者数 66 名
- h. 平成 30 年 2 月 24 日 「中甚兵衛と大和川付け替え運動」 聴講者数 69 名
- i. 平成 30 年 3 月 24 日 「大和川付け替えへ」 聴講者数 58 名

(ス) 【博物館実習】

- a. 平成 29 年 8 月 22 日～27 日 6 日間

大阪教育大学 1 名、近畿大学 2 名、東海大学 1 名 計 4 名

内容 館内施設の説明と見学、考古資料の扱い、民俗資料の整理、文書史料の整理、
写真の撮影、スポット展示の実施

(セ) 【職業体験】

- a. 平成 29 年 10 月 31 日～11 月 2 日 3 日間

柏原市立玉手中学校 2 年生 3 名

- b. 平成 29 年 11 月 9 日・10 日 2 日間

柏原市立国分中学校 2 年生 3 名

内容 資料の整理、スポット展示の実施など

(ソ) 【大学との連携】

- a. 平成 29 年 5 月 20 日

関西福祉科学大学 総合教養 I 「河内学」の学外体験授業。

「柏原の古墳文化」を山根が講義、その後 3 班に分かれて資料館・横穴公園案内。

(タ)【資料調査・整理】

- a. 国分本町・西尾寛一家（南西尾家）文書の整理。
- b. 今町・三田家文書の整理。
- c. 国分西・山本家所蔵文書の調査。
- d. 大阪市平野区・末吉家文書の調査。
- e. 国分・乾家所蔵「国分村検地帳」の調査。
- g. マイクロフィルム撮影事業。平成 19 年度から実施し、29 年度も 2,000 カットの撮影。柏原市古文書調査報告 5『柏元家文書目録Ⅲ』を実施。

(チ)【所蔵・保管資料の貸し出し】

計 10 件

- a. 大阪府立近つ飛鳥博物館
常設展示
平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
大県遺跡：鉄滓 6 点・韃羽口 7 点・砥石 2 点
計 15 点
- b. 柏原市市民部人権推進課
「柏原市平和展」に展示
平成 29 年 8 月 2 日～8 月 9 日
軍用スコップ、水筒、兵隊用の靴、軍隊手帳、鉄かぶと、兵帽、銃剣、軍服上下、ヤカン、水さし、ゲートル、たすき、皇軍萬歳双六、軍事絵葉書 6 点
計 20 点
- c. きつき城下町資料館
小熊山古墳・御塔山古墳・国指定記念企画展「水の願い・紙への祈りー御塔山古墳とその時代ー」に展示
平成 29 年 10 月 13 日～12 月 7 日
松岳山古墳：鰭付楕円筒埴輪
1 点
- d. 柏原市立国分中学校
授業の教材として使用
平成 29 年 9 月 29 日～平成 30 年 1 月 30 日
船橋遺跡：採集土器
5 点
- e. 柏原市立堅下小学校
授業の教材として使用
平成 29 年 10 月 27 日～11 月 10 日
糸車
2 点
- f. 個人
子供会の体験事業で使用
平成 29 年 10 月 21 日～28 日
綿繰機
1 点

- g. 個人
ホールで展示、実演
平成 29 年 12 月 25 日～27 日
綿繰機 1 点
- h. 柏原市立玉手小学校
国語科教材として使用
平成 30 年 1 月 26 日～2 月 2 日
糸車 1 点
- i. 柏原市立堅下小学校
「たぬきの糸車」の音楽劇で使用
平成 30 年 2 月 2 日～9 日
糸車 1 点
- j. 個人
「ほのぼのかたしも」で展示・実演
平成 30 年 2 月 21 日～23 日
綿繰機、貫頭衣、パネル 計 4 点

(ツ) 【所蔵・保管資料の撮影等】 計 22 件

- a. 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
春季特別展『新作発見！弥生絵画一人・動物・風景ー』の図録・ポスター・チラシ
等に掲載。
写真提供：平野遺跡出土絵画土器、船橋遺跡出土縄文絵画土器 計 6 点
- b. ㈱新風書房
『大阪春秋』第 167 号に掲載。
写真転載：「大和川付換撰河絵図」「讃良郡深野池周辺分限絵図」（中家文書） 2 点
- c. 個人
盤龍鏡調査のため。
写真提供：向井山茶臼塚古墳出土盤龍鏡 1 点
- d. 国立歴史民俗博物館
平成 29 年度企画展示「URUSHI ふしぎ物語一人と漆の 12000 年史」展示図録・
写真パネルに掲載。
写真提供：安福寺所蔵夾紵棺写真 1 点
- e. 大分県立埋蔵文化財センター
ミニ企画展「古墳の考古学」で使用。
写真提供：松岳山古墳出土埴輪 1 点
- f. 八尾市立歴史民俗資料館

- 新常設展「大和川流域と高安山ーその歴史と文化ー」の図録・パネルに掲載。
写真提供：「堤切所附箋図」（中家文書） 1 点
- g. 杵築市教育委員会
小熊山古墳・御塔山古墳・国指定記念企画展「水の願い・神への祈りー御塔山古墳とその時代ー」の写真パネル、図録への掲載。
写真提供：松岳山古墳出土鰭付楕円筒埴輪 2 点
- h. (有)樹林舎
『写真アルバム 八尾・柏原の昭和』に掲載。
写真提供：当館所蔵昭和期の写真 計 25 点
- i. 個人
「太平寺まち歩きマップ」に掲載。
写真提供：智識寺復元模型 1 点
- j. 関西テレビ放送(株)
関西テレビ「よ〜いドン！」の番組内で使用。
写真提供：「中甚兵衛肖像画」（中家文書） 1 点
- k. (公財) 大阪観光局
web サイト「OSAKA INFO」に掲載。
写真提供：資料館、高井田横穴公園、玉手山公園 計 3 点
- l. 個人
『国分寺の総合研究Ⅱ 遺物編』に拓本・断面図を掲載。
写真提供：河内国分寺・国分尼寺出土軒丸瓦・軒平瓦 計 9 点
- m. 個人
『日本における百済関連遺跡遺物資料集』に掲載。
写真提供：大県遺跡鍛冶炉・出土土器・出土鍛冶工具、高井田山古墳横穴式石室全景・熨斗銅鏡出土状況・出土熨斗・出土土器・冑・出土頸飾、田辺廃寺西塔礎石・出土軒丸瓦・軒平瓦 計 11 点
- n. (株)同成社
辻田淳一郎著『同型鏡と倭の五王の時代』に掲載。
写真掲載：高井田山古墳出土神人龍虎画像鏡 計 3 点
- o. 柏原おいな〜れガイドの会
「おいな〜れカード」に写真掲載。
写真提供：松岳山古墳出土鰭付楕円形埴輪、茶臼塚古墳出土三角縁三神三獣鏡、本郷遺跡出土小銅鐸、平野遺跡出土絵画土器、亀の瀬隧道、高井田山古墳出土火熨斗、鳥坂寺跡出土墨書土器、平尾山古墳群出土馬形埴輪、片山出土三角板鋌留短甲形埴輪 計 9 点
- p. 松岳山古墳保存会

パンフレット、ホームページ等に掲載。

写真提供：松岳山古墳墳頂部・橢円筒埴輪出土状況・出土橢円筒埴輪、茶臼塚古墳
墳丘・竪穴式石室・出土銅鏡・出土腕輪形碧玉製品 計 8 点

q. 学校法人河合塾

2018 年度前期「日本史写真資料集」に掲載。

写真転載：茶臼塚古墳出土円筒埴輪 1 点

r. (株)新泉社

『蘇我氏の古代学』に掲載。

写真提供：高井田山古墳横穴式石室 1 点

s. 個人

ロウ画絵本『たつたひめ』に掲載。

写真提供：青谷遺跡周辺の航空写真 1 点

t. 大阪府立狭山池博物館

平成 30 年度大阪府立狭山池博物館ボランティア企画展「はるかなる石の旅」において
パネル展示、広報、ホームページ等で使用。

写真転載：安福寺所蔵割竹形石棺 計 4 点

u. (株)碧水社

『週刊ビジュアル戦国王』93 号に掲載。

写真提供：「石神社」「木沢長政の墓」 計 2 点

v. 学生

卒業論文作成のため。

写真提供：安福寺所蔵夾紵棺 計 6 点

(テ) 【所蔵・保管資料の調査・見学等】 計 15 件

a. 個人

高井田横穴群第 3 支群 3 号横穴

b. 個人

高井田山古墳出土甲冑類

c. 個人

向井山茶臼塚古墳出土盤龍鏡写真

d. 個人

河内国分寺跡採集軒丸瓦

e. 個人

高井田山古墳出土繊維

f. 韓国国立公州博物館館長ほか 5 名

高井田山古墳出土熨斗・金層ガラス玉・高坏・鉄矛

- g. 個人
駕籠
- h. 個人
高井田横穴群出土形象埴輪
- i. 個人
高井田山古墳出土石突
- j. 個人
堅山家文書
- k. 個人2名
堅山家文書
- l. 個人
本郷遺跡・船橋遺跡の調査写真
- m. 学生（奈良大学）
高井田山古墳出土槍
- n. 学生（京都大学）
堅山家文書、寺田家文書
- o. 学生（京都大学）
平尾山古墳群平野・大県支群 20－3 号墳出土単龍環頭大刀柄頭

(ト) 【寄贈資料】	計 14 件
a. 唐箕、高機 4 点、高機用具 1 式、糸巻、マッチ箱	計 8 点
b. 拾円紙幣	計 4 点
c. 貝ボタン多数、手ぬぐい 2 点	計 3 点
d. たらい、箕、箆 2 点、籠 3 点、ジョウロ付手桶 2 点、ジョウロ	計 10 点
e. グライNDER	1 点
f. 堅下小学校卒業生「一心会」の旗	1 点
g. 8 ミリカメラ、8 ミリ映写機、8 ミリテープ（万博）、スライド映写機、スライドセ ット 6 点	計 10 点
h. 練炭火鉢、分銅秤、竿秤 2 点、一斗枡、一升枡、すり棒 2 点、もち箱 6 点、箕 3 点、 ゼンマイ式時計、鋤、鍬、裁縫箱、裁縫用具一式（針、糸、ボタン、布など）、硯箱、 書道具一式（硯、墨、水差しほか）	計 24 点
i. 軒丸瓦、軒平瓦、丸瓦、平瓦、須恵器、土師器	計コンテナ 4 箱
j. 箱火鉢、煙草盆（木箱入り）、重箱（木箱のみ）、珈琲セット（木箱のみ）、ノート	計 6 点
k. かんな、矢立、墨壺、煙管、煙草入れ、鹿角製品、財布（お札入り）、不明木製品	計 10 点

- | | |
|---------------------------|-----------|
| l. 絵はがき（農商務省農事試験場畿内支場に係る） | 計 2 点 |
| m. 絵はがき（農商務省農事試験場畿内支場に係る） | 計 2 点 |
| n. 埴輪、土器片 | 計コンテナ 1 箱 |

- | | |
|-----------------------|-------------|
| (ナ) 【寄託資料】 | 計 3 件 |
| a. 今町・三田家文書 | 筆筒引き出し 5 段分 |
| b. 「弘法大師御伝記」上下一巻 | 1 点 |
| c. 安福寺所蔵夾紵棺（柏原市指定文化財） | 1 点 |

- (ニ) 【刊行物等】
- a. 『横穴探求』 夏季企画展に伴う展示図録
カラー 32 ページ、平成 29 年 7 月発行、300 円
 - b. 『柏原市立歴史資料館館報』 第 29 号・2016 年度
82 ページ、平成 29 年 9 月発行、500 円
 - c. 『今町』
34 ページ、平成 30 年 3 月発行、300 円
 - d. 資料集『水野家文書』
21 ページ、平成 30 年 3 月発行、400 円
 - e. 『ゴンドラ』 第 14 号
4 ページ、平成 29 年 9 月発行、無料
 - f. 手ぬぐい
平成 29 年 11 月発売、300 円

(ヌ) 【市民歴史クラブ】 会員 14 名

資料館を拠点にクラブとして自主的に活動。平成 29 年度は、春季企画展「竹原井頓宮」に伴い、青谷遺跡の遺構模型、青谷遺跡周辺の地形模型（ジオラマ）を作製し、河内国分寺七重塔の模型とともに展示した。

9～10 月には、大阪府立中央図書館で、歴史資料館・府立中央図書館と共催の模型を中心とした「竹原井頓宮」の展示を行った。1～2 月には、大阪府立近つ飛鳥博物館でも、「竹原井頓宮」と題して地形ジオラマなどの展示を行った。平成 29 年度春季企画展「今町」開催に伴い、柏原市今町周辺のジオラマを作製して展示に参加。

これ以外にも、冬季企画展に伴うなわなひの準備・体験の補助、横穴公開の解説等にもボランティアとして協力。

(ネ) 利用状況

平成 29 年度歴史資料館利用状況（入館者数）

月	入館者数	開館日数	1 日平均入館者数	土日祝日平均入館者数
4	665	26	25.6	41.0
5	1,025	26	39.4	59.5
6	573	26	22.0	41.4
7	764	27	28.3	46.6
8	809	27	30.0	37.3
9	2,635	26	101.3	36.1
10	4,054	27	150.1	30.9
11	4,366	26	167.9	54.1
12	821	24	34.2	31.0
1	955	25	38.2	35.7
2	993	25	39.7	45.8
3	671	27	24.9	41.0
合 計	18,331	312	58.8	41.9

平成 25～29 年度・利用状況の変化

年度	入館者数	開館日数	1 日平均入館者数	土日祝日平均入館者数
25	17,853	305	58.5	40.0
26	18,135	315	57.6	35.4
27	19,241	315	61.1	44.1
28	17,906	312	57.4	40.7
29	18,331	312	58.8	41.9

企画展別入館者数

「竹原井頓宮」 2,185 名（個人 1,759 名、15 団体 426 名）

「横穴探求」 1,453 名（個人 1,291 名、8 団体 162 名）

「天井川と洪水」 11,383 名（個人 1,611 名、129 団体 9,772 名）

「ちょっと昔の道具たち」 2,266 名（個人 1,411 名、20 団体 856 名）

(ノ) 高井田文化教室「柏陽庵」利用状況

5人以上の一般の貸室と定期的なクラブ等の団体への貸室とに区別して有料で開放。茶道・華道・箏曲・俳句・川柳・短歌・詩吟・和裁・押し花・ビーズ工芸・将棋・学生のクラブなどの文化活動の場として利用を呼び掛け。

柏陽庵利用状況

平成29年4月～平成30年3月

月別	クラブ利用者	一般利用者	合計	月別	クラブ利用者	一般利用者	合計
4月	80	160	240	10月	69	0	69
5月	87	0	87	11月	117	10	127
6月	87	0	87	12月	46	150	196
7月	87	150	237	1月	71	180	251
8月	59	30	89	2月	87	16	103
9月	87	150	237	3月	76	0	82
				総計	953	852	1,805

(2) 横穴管理運営関係

(ア) 【史跡高井田横穴特別公開】

- a 春季 5月20日(土) 午前10時～午後3時 242名
 - b 秋季 10月21日(土) 午前10時～午後3時 23名
- ・ 史跡高井田横穴公園開園 25 周年記念として、船に乗る人物の線刻壁画のある第3支群5号横穴を6年ぶりに公開。
 - ・ 市民歴史クラブが参加・協力。
 - ・ 春季については関西福祉科学大学の「総合教養Ⅰ－河内学－」の学外体験講義として位置付けられ、学生40人が歴史資料館で講義を受講後、横穴を見学した。

(イ) 【横穴公園等案内】

団体の横穴見学希望者には、可能な限り職員が鍵を開けて数基の横穴を案内。

(ウ) 【維持管理】

- a 保存工事を実施した第3支群5号横穴の経過観察を定期的に実施(毎月)。
目視、写真撮影、記録作成、他
- b 横穴公園内景観の維持管理。
枯木等の伐採、他

3 平成30年度事業計画

(1) 歴史資料館関係

(ア) 【常設展示】

資料貸し出し等に伴い、少しずつ展示資料を入れ替え。

近世・民具の展示コーナーは、季節感等も考慮して資料を入れ替えながら展示。

(ウ) 【企画展示】

a. 「鍛冶の郷」市制60周年記念

平成30年7月1日(日)～8月26日(日)

b. 「わずか7か月の大工事―大和川のつけかえ―」

平成30年9月11日(火)～12月9日(日)

c. 「ちょっと昔の道具たち」

平成31年1月5日(土)～3月10日(日)

d. 「安宿郡の古墳と寺院―7～8世紀の近つ飛鳥―」

平成31年3月30日(土)～6月16日(日)

(エ) 【特集展示】

a. 「水野家文書―三田家のはじまり―」 平成30年4月～6月

b. 「柏原と明治維新」明治維新150年記念 平成30年6月～9月

c. 「八尾の宝物」 平成30年9月～12月

d. 「未定」 平成31年1月～3月

(オ) 【スポット展示】

「こんなモノをいただきました」

最近の寄贈資料を2か月ごとに展示替え。

博物館実習生、職業体験生徒による展示を予定。

(カ) 【出張展示】

a. 市民歴史クラブ・大阪府立中央図書館と共催で、府立中央図書館にて「大和川洪水との戦い―河内国分村の場合―」の出張展示。地形模型・遺構模型を中心に、パネル等を展示。

平成30年9月20日～10月10日

講演会 平成30年9月 「大和川洪水との戦い」

b. 大阪府立近つ飛鳥博物館等における市民歴史クラブの展示を支援。

(キ)【文化財講演会】

a. 平成 30 年 7 月 28 日 (土)

講師 山田隆一氏 (大阪府教育庁)「柏原市大県遺跡について」

講師 吉田知史氏 (交野市教育委員会)「交野市森遺跡について」

b. 平成 30 年 8 月 25 日 (土)

講師 坂 靖氏 (奈良県教育委員会)「大和の鍛冶遺跡について」

講師 北野 重氏 (たたら研究会)「柏原市大県遺跡について」

(ク)【市民歴史大学】

「柏原と鍛冶」をテーマに 4 回の講演会を開催 (文化財講座例会を兼ねる)。

a. 平成 30 年 7 月 14 日 (土)

講師 野島 永氏 (広島大学教授)

b. 平成 30 年 8 月 5 日 (日)

講師 村上恭通氏 (愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター センター長)

c. 平成 31 年 1 月 12 日 (土)

講師 未定

d. 平成 31 年 2 月 9 日 (土)

講師 未定

(ケ)【体験教室】

a. 「しめなわを作ろう」定員 20 名

平成 30 年 12 月 2 日 (日)

b. 「わらざうりを作ろう」定員 15 名

平成 31 年 2 月 3 日 (日)

(コ)【文化財講座】

テーマ「鍛冶の郷」

定員 60 名 受講者数 54 名

日 時 原則として毎月第 2 土曜日 年間 11 回の予定

参加費 年間 2,000 円

担 当 山根

平成 30 年

5 月 12 日 「古代の鍛冶」(講義 山根)

6 月 9 日 「集落の変遷からみた柏原の鍛冶」(講義 安村)

7 月 14 日 市民歴史大学 a

8月 5日 市民歴史大学 b
9月 8日 「鍛冶の郷－展示を振り返って－」（講義 山根）
10月 13日 「大県遺跡ほか」（見学会）
11月 10日 「森遺跡ほか」（見学会）
12月 8日 「寺口忍海古墳群ほか」（見学会）
平成 31 年
1月 12日 市民歴史大学 c
2月 9日 市民歴史大学 d
3月 9日 「柏原と鍛冶－まとめ－」（山根）

（サ）【古文書入門講座】

a. 初級編

テーマ『河内鑑名所記』を読む

定 員 25 名 受講者数 22 名 参加費 年間 1,000 円

日 時 原則として 6 月から 3 月までの毎月第 3 土曜日午前 計 10 回

b. 中級編

テーマ「青地樋伏替へ目論見帳」ほか

定 員 25 名 受講者数 20 名 参加費 年間 1,000 円

日 時 原則として 6 月から 3 月までの毎月第 3 土曜日午後 計 10 回

担 当 高岡

（シ）【館長と学ぶ大和川講座】

大和川の歴史について、館長とともに学び、考える講座。

定員 70 名、申込不要、無料

日 時 4 月から 3 月までの毎月第 4 土曜日を予定

担 当 安村

（ス）【博物館実習】

平成 30 年 8 月 21 日（火）～26 日（日）

6 名程度の受け入れ予定（近畿大学ほか）

担 当 山根、安村

（セ）【調査・整理】

a. 国分村・南西尾家文書の整理、目録刊行。

b. 今町・三田家文書の整理。

c. 玉手・安福寺文書の調査・整理。今年度から実施。

- d. 平野・末吉家文書の整理。今年度から実施。
- e. 本郷・柏元家文書の整理。
- f. 国分村検地帳の翻刻。
- g. マイクロフィルム撮影事業。調査報告5『柏元家文書Ⅲ』の撮影。
- h. マイクロフィルムの整理。

(ソ)【所蔵・保管資料の貸出等】

これまでと同様に、積極的に公開・活用を図っていく。市文化財保護条例の施行に伴い、市指定文化財については、通常の手続き以外に公開届が必要となっている。

(タ)【寄贈・寄託】

広報等での呼びかけとともに、資料集の刊行やスポット展示などによって市民の関心を喚起し、寄贈・寄託資料の増加を図る。

(チ)【予定刊行物】

- | | |
|-----------------------|-------------|
| a. 夏季企画展図録『鍛冶の郷』 | 平成30年7月刊行予定 |
| b. 『柏原市立歴史資料館館報』第30号 | 平成30年9月刊行予定 |
| c. 『ゴンドラ』第15号 | 平成30年9月刊行予定 |
| d. 『国分村南西尾家文書目録Ⅱ』 | 平成31年2月刊行予定 |
| e. 春季企画展図録『安宿郡の古墳と寺院』 | 平成31年3月刊行予定 |

(ツ)【市民歴史クラブ】

9～10月に府立中央図書館にて当館と共催で、「大和川洪水との戦い」の展示を計画。春季企画展「安宿郡の古墳と寺院」開催に伴い、安宿郡周辺の地形模型や片山廃寺五重塔の復元模型などの製作を予定。

(テ)【高井田文化教室（柏陽庵）】

クラブ登録をした団体には利用料金を半額とし、期日前の申し込みを可能としている。クラブ制度による定期的な利用者の増加を図るとともに、一般利用者の促進を図る。

(2) 横穴管理運営関係

(ア) 【史跡高井田横穴特別公開】

- a 春季 5月19日(土) 午前10時～午後3時
 - ・ 柏原市制 60 周年を記念して、第3支群5号横穴の線刻壁画を公開。
 - ・ 市民歴史クラブが参加・協力。
 - ・ 関西福祉科学大学「総合教養Ⅰ－河内学－」の学外体験講義。
- b 秋季 10月20日(土) 午前10時～午後3時
 - ・ 市民歴史クラブが参加・協力予定。

(イ) 【横穴公園等案内】

地域の歴史と自然に親しめる公園として、団体の見学希望者に職員が鍵を開けて案内。

(ウ) 【維持管理】

- a 保存工事を実施した第3支群5号横穴の経過観察を定期的実施(毎月)。今年度も線刻壁画に対する日照や照明の影響について調べる予定。そのため、照明については人感センサーを切っており、特別公開日を除き、玄室内部を覗くために人が近づいても照明は点灯しない。
- b 第3支群5号横穴については、特別公開日以外は入口扉のガラス越しに見学してもらう。
- c 横穴公園内景観の維持管理。

(エ) その他【柏原市文化財保護条例】

- a 柏原市文化財保護条例に基づく審議会の開催(2回)。
- b 柏原市文化財保護条例に基づく文化財の市指定。

柏原市立歴史資料館等運営協議会委員名簿

号	氏 名	備 考
1	木 下 百合子	大阪教育大学名誉教授 (学識経験者)
1	塚 口 義 信	堺女子短期大学名誉学長・名誉教授 (学識経験者)
1	綿 貫 友 子	神戸大学教授 (学識経験者)
2	橋 本 早知子	柏原市校園長会代表 柏原市立堅上小学校校長
2	水 元 誠 致	大阪府立柏原東高等学校校長 (市内公私立学校関係者)
4	岡 野 有 幸	市民代表(公募)
4	中 野 武	市民代表(公募)

※数字は設置規則第 条 1 号、2 号、4 号委員を指す。

※名簿掲載順は、各号委員別にアイウエオ順とした。

※任期は平成 32 年 3 月 31 日まで